

# 兵庫県のり漁場環境情報 (東播海域 20 号)

2024年 3月28日発行

兵庫のり研究所

3月23日から26日にかけての降雨(地点:明石,合計降水量87.0mm)後の調査でした。海域全般に、小型珪藻のレプトシリンドラス, スケルトネマ等は依然確認されますが、発生量は減少しています。窒素は、大阪湾海水の影響が見られる魚住漁場以東で1~2  $\mu\text{g at/L}$  台、二見漁場以西では陸水の影響が見られる地点で3  $\mu\text{g at/L}$  以上、その他の地点で概ね1  $\mu\text{g at/L}$  以下の値となっています。

(水温) 漁場内平均10.5 $^{\circ}\text{C}$  (ほぼ平年並、昨年比1.0 $^{\circ}\text{C}$ 低い)。 (塩分) 平均31.63psu。

(珪藻、栄養塩) 海域全般に、小型珪藻のレプトシリンドラス, スケルトネマ, キートセロス等は確認されるが、前回(3/25)調査より発生量は大きく減少していた。大型珪藻ユーカンピア発生量(海水1mlあたり)は、0~8細胞(前回値:0~10細胞)と少ない。まとまった降雨後の調査であったため、海域西部において、陸水の影響が見られる地点で栄養塩の値が高くなっていた。海域東部では、上げ潮での調査ということもあり、漁場地先・沖筋ともに大阪湾海水が波及しており、陸水による栄養塩の顕著な増加は見られなかった。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	10.4	10.5	10.6	11.5
窒素	2.5	3.9	3.1	2.5
リン	0.21	0.33	0.28	0.34

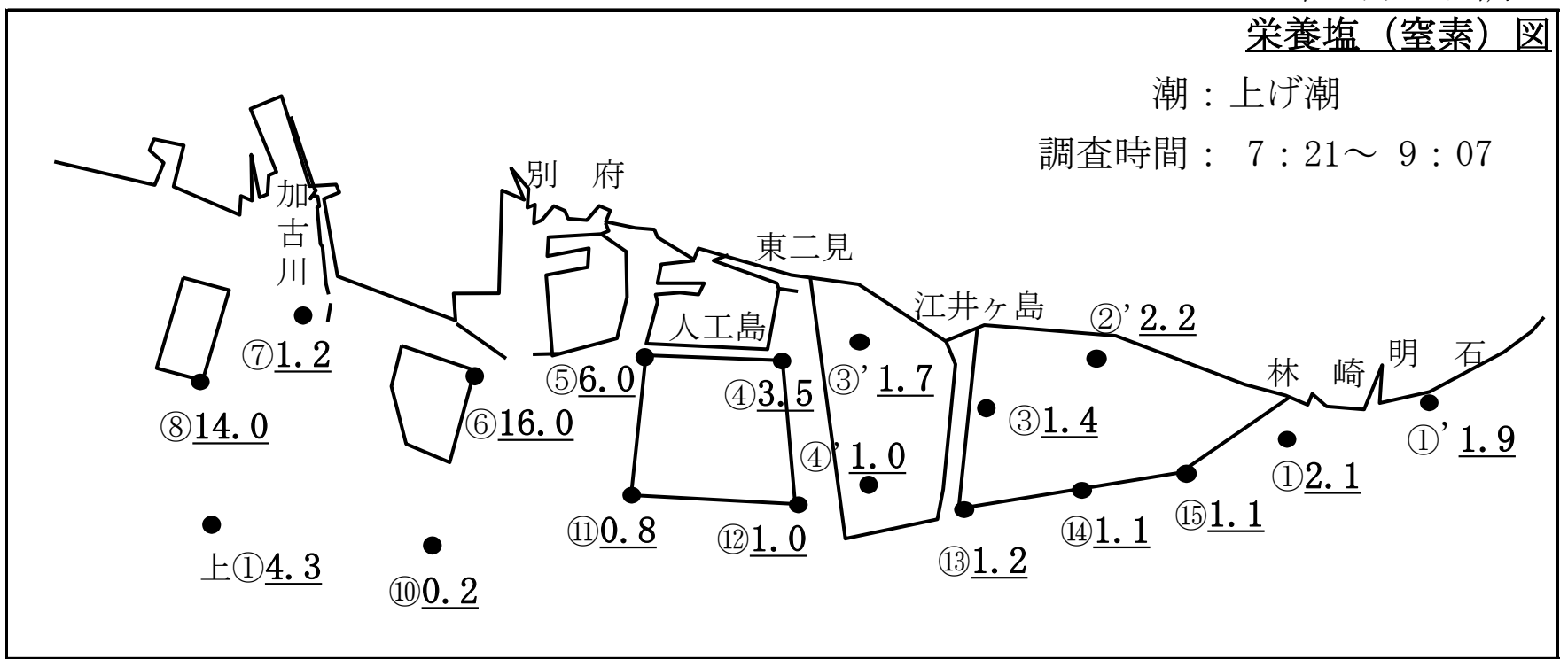
(3/25) (3/28)

2024年 3月28日調査

## 栄養塩(窒素) 図

潮: 上げ潮

調査時間: 7:21~9:07



## 水温図

